

港区立たかはま保育園
指定管理者候補者選考委員会
報 告 書

平成29年7月3日

港区立たかはま保育園
指定管理者候補者選考委員会

目 次

はじめに

I	選考した指定管理者候補者について	1
II	選考経過について	2
III	選考対象者について	4
IV	選考結果について	5
V	最終選考結果について	7

はじめに

本報告書は、港区立たかはま保育園の指定管理者候補者を選考するにあたり、「港区立たかはま保育園指定管理者候補者選考委員会」における審査の経過並びに結果について報告するものです。

港区が定めた「港区指定管理者制度運用指針」では、民間事業者等が持つノウハウやアイデア、専門性などを活用することにより、多様化する区民ニーズへの柔軟かつ迅速な対応や効率的で効果的な区民サービスの提供が可能となる施設については、積極的に指定管理者制度の導入を進めるとしています。

「港区立たかはま保育園指定管理者候補者選考委員会」は、このような視点を踏まえた上で、保育園の設置目的を最大限に活かし、効率的・効果的に区民サービスを提供することができる候補者の選考を行いました。

審査にあたっては、常に厳正さと公正さを確保するとともに、委員会として委員の総意の下に結論を導き出すよう努めました。

港区立たかはま保育園指定管理者候補者から提案された内容は、地域の特性や、事業者としての豊富な実績が十分に活かされた大変優れたものでした。応募事業者が1事業者であったため、選考においては、主に応募事業者の指定管理者候補者としての適格性について審議することとなりました。提案内容の比較ができず、選考作業では苦慮した部分がありましたが、指定管理者を公募した目的は十分達成されたものと考えます。

選ばれた事業者には、港区立保育園条例に定める目的の達成に向け、指定管理者として十二分に力を発揮されることを強く期待いたします。

平成29年7月3日

港区立たかはま保育園指定管理者候補者選考委員会
委員長 阿部 真美子

I 選考した指定管理者候補者について

1 指定管理者候補者

名 称	株式会社日本保育サービス
代表者	代表取締役 荻田 和宏
所在地	愛知県名古屋市東区葵三丁目15番31号

2 対象施設

施設の名称	所在地
港区立たかはま保育園	東京都港区港南四丁目3番7号

3 指定期間

平成30年4月1日から平成40年3月31日まで（10年）

4 選考の理由

- (1) 保育園の運営実績が豊富であり、法人として園運営にあたっての方針や理念が確立されています。保育指導計画をはじめとした提案内容についても、実現性・信頼性があります。
- (2) 正規常勤職員の割合が高く、安定的な保育を実施するための事業者としての姿勢が評価できます。保育士採用の戦略の一つとして、法人独自に保育士養成講座や、奨学金制度を設けている点も評価しています。
- (3) 近隣保育園への園庭開放や連携保育園である「港南あおぞら保育園」との交流保育など、地域の保育園と積極的に連携を図り、地域に根ざした保育園を目指す姿勢が評価できます。また、高層マンション世帯が多いことを踏まえて保育活動において戸外活動を充実させるなど、地域の特性・課題がよく捉えられています。
- (4) 区の保育に対する考え方をきちんと理解した上で提案されています。大規模園を運営する上での課題も捉えられており、保育活動に細やかな配慮が見られるなど、提案に活かされています。

Ⅱ 選考経過について

1 選考の方法

(1) 第一次審査

応募法人から提出された申請書類及び計画書類について、財務関係書類、基本的事項の適格審査、計画書類に対する評価をもとに総合的な審査を行い、第一次審査通過者として1事業者を選考しました。

(2) 第二次審査

第一次審査通過者に対して、プレゼンテーション及びヒアリングを行い、(第一次審査と第二次審査とを併せた) 総合評価により指定管理者候補者を選考しました。

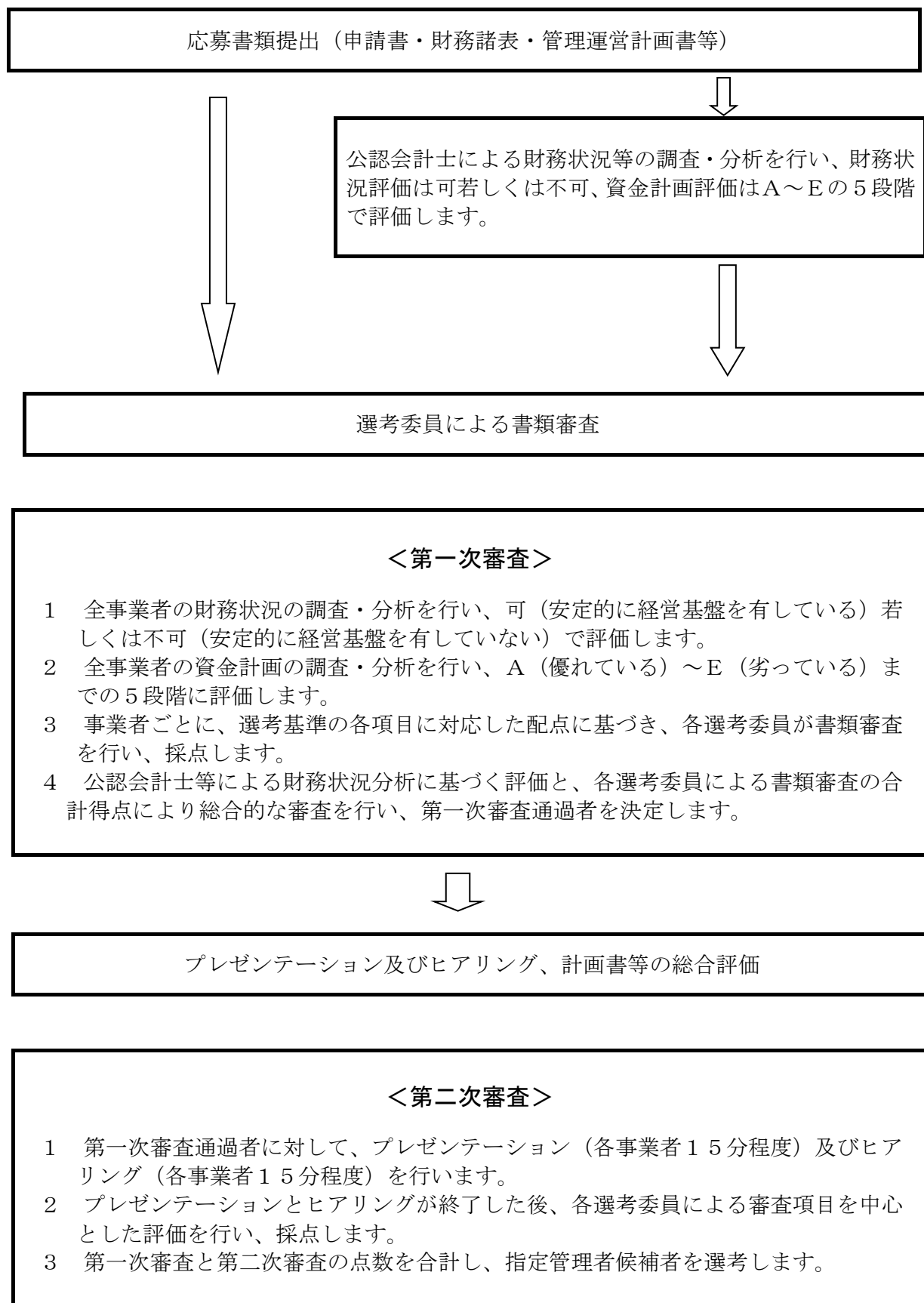
2 選考委員会の構成

委員長	阿 部 真美子	聖徳大学児童学部児童学科教授
副委員長	浦 田 幹 男	港区芝浦港南地区総合支所長
委員	村 上 八千世	常盤短期大学 幼児教育保育学科特任准教授
〃	請 川 滋 大	日本女子大学家政学部児童学科准教授
〃	重 富 敦 (第1回)	港区子ども家庭支援部保育課長
〃	中 島 由美子 (第2回・第3回)	港区子ども家庭支援部 子ども家庭支援センター所長

3 公認会計士

類 家 元 之	類家公認会計士事務所
---------	------------

4 選考の進め方



5 選考委員会等の開催状況及び経過

(1) 第1回選考委員会

日 時 平成29年4月6日(木曜日) 午後5時30分～6時30分
場 所 港区役所5階会議室
議 題 委員の委嘱について
公募要項について
第一次及び第二次審査基準について

(2) 公募手続き

ア 公募要項説明会 平成29年4月25日(火曜日)
イ 現地見学会 4月25日(火曜日)
ウ 質問書受付 4月25日(火曜日)～5月1日(月曜日)
エ 質問への回答 5月10日(水曜日)
オ 計画書類等受付(第二次提出) 5月29日(月曜日)～5月30日(火曜日)

(3) 第2回選考委員会(第一次審査)

日 時 平成29年6月19日(月曜日) 午前10時20分～11時20分
場 所 港区役所5階会議室
議 題 公認会計士からの財務状況等分析結果の報告
第一次審査(書類審査)通過事業者の決定について
第二次審査の方法について

(4) 第3回選考委員会(第二次審査)

日 時 平成29年7月3日(月曜日) 午前10時15分～11時15分
場 所 港区役所5階会議室
議 題 第二次審査(プレゼンテーション及びヒアリング)
指定管理者候補者の決定について

Ⅲ 選考対象者について

No	事業者の名称	所在地
1	株式会社日本保育サービス	愛知県名古屋市中区葵三丁目15番31号

Ⅳ 選考結果について

1 第一次審査

(1) 財務状況分析等について

公認会計士による財務状況調査分析等報告書に基づき説明がありました。

ア 財務状況評価

法人より提出された財務諸表（決算報告）を基に、財務規模、収益性、安全性について、数値及び比率分析等により、安定的に継続して指定管理業務を行うことができるか否かを、可若しくは不可の絶対評価を行いました。

イ 資金計画評価

法人より提出された資金計画書を基に、資金・収支計画の正確性、安全性、収支見込の妥当性、運転資金調達の確実性、事業計画との整合性、経費見積りの妥当性などについて数値及び比率分析により、A～Eの5段階総合評価を行いました。

(2) 選考基準表に基づく採点

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計による選考を実施しました。

順位	事業者の名称	財務状況 評価	資金計画 評価	合計点数 (1,000点満点)
1	株式会社日本保育サービス	可	B	747点

※ 財務状況評価基準

可（安定的に経営基盤を有している）、不可（安定的に経営基盤を有していない）

※ 資金計画評価基準

A：優れている、B：やや優れている、C：普通、D：やや劣っている、E：劣っている

(3) 選考経過

各委員が候補者の提案内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
株式会社日本保育サービス	・延長保育事業での空間づくりやおもちゃの配置への配慮など細やかに対応できていることが読み取れ、大変良い。 ・戸外活動を重視する保育活動提案など、高層マンション世帯が多い地域の特性をよく捉えている。 ・正規常勤職員の割合が高い。安定的な保育を実施するための事業者としての姿勢を評価する。

	・地域に根ざした保育園を目指す姿勢が評価できる。 ・保育計画をはじめとして、提案内容は実現性、信頼性がある。ただ、大規模園における3歳未満児の保育への配慮について言及されているとより良かったと思う。 ・豊富な運営実績を評価する。 ・保育士確保に向けて、独自に保育士養成講座や、奨学金制度を設けている点は高く評価できる。
--	--

以上の点を総合的に勘案して、事業者を第一次審査通過者とししました。

2 第二次審査

(1) プレゼンテーション及びヒアリング

第一次審査通過事業者がそれぞれ15分のプレゼンテーションを行った後、管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容に基づき15分のヒアリングを行い、選考基準により審査しました。

(2) 採点結果

選考委員ごとの評価した点数を合計し、全委員の採点した点数の合計と第一次審査の合計点を合算した総合点数をもとに審査しました。

順位	事業者の名称	総合点数 (1,500点満点)	第一次審査点数 (1,000点満点)	第二次審査点数 (500点満点)
1	株式会社日本保育サービス	1,132点	747点	385点

(3) 選考経過

各委員が第一次審査通過事業者の管理運営計画書及びプレゼンテーションの内容の評価について意見交換を行いました。

事業者の名称	委員の意見
株式会社日本保育サービス	・運営実績が豊富であり、園を運営するにあたっての方針や理念も確立されていて信頼できる事業者である。 ・地域特有の課題や大規模園を運営する上での課題を把握できていて、細やかな配慮がなされた保育を実施するなど提案にも反映されている。

	・区としての保育に対する考え方をきちんと理解した上で提案されている点や、近隣保育園への園庭開放や、連携保育園との交流保育など、地域の保育園との連携に対する積極的な姿勢を高く評価した。 ・園長候補者は、園を安心してお任せできる、園長としてふさわしい方と判断できる。副園長候補者については、副園長としての役割をきちんと把握できている。
--	--

V 最終選考結果について

最終選考結果

事業者は安定的な経営基盤、豊富な保育園運営実績を有しており、大規模保育園であることや、地域の特性が考慮された提案内容は評価できるものでした。併設施設との連携だけでなく、近隣施設や地域団体とも積極的に交流・連携を図っていく姿勢は高く評価できます。

応募事業者が1事業者であったことから、選考は、主に応募事業者の指定管理者候補者としての適格性について審議し、選考基準に基づく採点結果は1,500点中1,132点と約75.5%の得点を得ています。

事業者の豊富な実績を十分に活かしながら地域に根ざした保育園を目指す姿勢を高く評価し、選考委員会の総意として、「株式会社日本保育サービス」を港区立たかはま保育園指定管理者候補者として選考します。